



森下仁丹

報道関係各位

2014年6月10日
森下仁丹株式会社

《第59回(社)日本透析医学会 学術集会・総会にて》
ビフィズス菌を生きのまま腸まで届けるシームレスカプセル製剤の
透析患者における血中リン低下作用機序について研究発表

【会期】2014年6月12日(木)～15日(日)

【会場】神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル、
ワールド記念ホール、クオリティホテル神戸

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:駒村純一)は、2014年6月12日(木)から6月15日(日)まで兵庫県神戸市内の5会場で開催される「第59回(社)日本透析医学会 学術集会・総会」に出展いたします。また、6月13日(金)9:30より、神戸ポートピアホテルにて、弊社と共同研究を行っている東京女子医科大学および平成日高クリニックより「ビフィズス菌の血中リン低下作用機序 ～腎不全ラットを用いた検討～」と題し、共同研究結果を発表いたします。

これまでの研究では、弊社のビフィズス菌を生きのまま腸まで届けるシームレスカプセル製剤の摂取により、透析患者の血清リン値が低下したとの報告がされています。今回、東京女子医科大学および平成日高クリニックとの共同研究により、同カプセル製剤の血中リン低下作用機序について動物実験による検討を行いましたので、その結果をご報告いたします。

「第59回(社)日本透析医学会 学術集会・総会」開催概要

日時：2014年6月12日(木)～15日(日)
会場：神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸ポートピアホテル、
ワールド記念ホール、クオリティホテル神戸
テーマ：考える透析
会長：椿原 美治(大阪大学大学院医学系研究科 腎疾患統合医療学 寄附講座教授)

☆共同研究発表講演

日時：6月13日(金)9:30-10:30「リン吸着薬」オーラルセッション内
演題：O-0040「ビフィズス菌の血中リン低下作用機序 ～腎不全ラットを用いた検討～」
場所：神戸ポートピアホテル 南館B1F エメラルド(第9会場)
演者：永野 伸郎(日高病院 日高学術研究センター)

共同演者：永野 伸郎:1、二家 真由子:2、河野 麻実子:3、中野 修身:3、
伊藤 恭子:4、野原 ともい:5、肥田 実里:5、星 綾子:5、筒井 貴朗:5、
安藤 哲郎:6、安藤 義孝:6、新田 孝作:7、小川 哲也:2

1:日高病院 日高学術研究センター、2:東京女子医科大学東医療センター 内科、
3:森下仁丹(株) 研究開発本部、4:平成日高クリニック 透析センター、
5:日高病院 腎臓内科、6:日高病院 人工透析・移植外科、7:東京女子医科大学 第4内科

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報宣伝G 担当:磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108
共同PR株式会社 第六業務局 担当:長尾・呉 TEL:03-3571-5236 FAX:03-3574-1005



森下仁丹 〒540-8566 大阪市中央区玉造一丁目2番40号 TEL:(06)6761-1134 FAX:(06)6761-8108